

「令和6年能登半島地震」

2024年1月7日

石川県労連対策本部ニュース

第2号

被災地余震続き、能登全域の断水も続く

被災地では余震が続く中で避難生活を送っています。まだ住人が閉じ込められている倒壊家屋が多く、孤立地区もあり、消防隊、自衛隊などによる救援・救助活動が続けられています。

輪島市、珠洲市では帰省者、観光者もいますが、人口の半数が避難所にいる人数となっています。また行政から給水支援が行われていますが、7日の時点でも能登地方全域の断水が続いています。

救援活動・安否確認をすすめる

6日には渡邊全労連事務局次長と長曾県労連事務局長は被災地の状況を確認するため七尾市に向かいました。同市内の商店街は倒壊家屋・店舗が多くありました。海岸周辺は液状化や陥没・隆起が激しい状況でした。断水が続いており、被害が少ない飲食店でも休業中となりました。

建交労県本部は珠洲市への救援を行っています。

医労連は7日、鈴木全医労本部書記長、森川同書記次長、松本同副委員長(元石川県労連委員長)、嵯峨県医労連は七尾病院(全医労七尾支部)に支援物資を届けました。

生協労連コープいしかわ労組では二名の労組員が安否不明となっており、無事を連絡取れることを願います。

県労連として組織内組合員の安否確認を進めています。



発行：石川県労連（石川県労働組合総連合）

電話：076-231-3199 FAX076-264-2442

Eメール：isiroren-1@bird.ocn.ne.jp